

エゴマの簡易な水分測定法

福島県農業総合センター 作物園芸部 畑作科

1 部門名

普通畑作物—その他—収穫・乾燥・調製、計測・調査法

2 担当者名

平山孝、遠藤央士、平敏伸

3 要旨

収穫後のエゴマ子実は、搾油率を高めるために5~6%程度を目安に含水率を下げる必要がある。エゴマに対応した水分計も市販されてはいるが、一般に普及している従来の穀類水分計および米麦用電気抵抗式水分計を用いた簡易な水分測定法を明らかにした。

- (1) 高周波容量式水分計 (PM-830-2、試料「もみ」) および電気抵抗式水分計 (ライスタm、試料「もみ」) の表示値は実際の含水率と高い相関があり、図1の換算式 ($y=1.3697x-2.8223$, $y=0.6077x-0.5963$) により求めることができる。
- (2) 両水分計とも表示値が実際の含水率と異なるので注意する (必ず換算式を用いる)。
- (3) 子実は油脂を含むため、使用後は付属ブラシやハケなどで電極部を丁寧に清掃する。

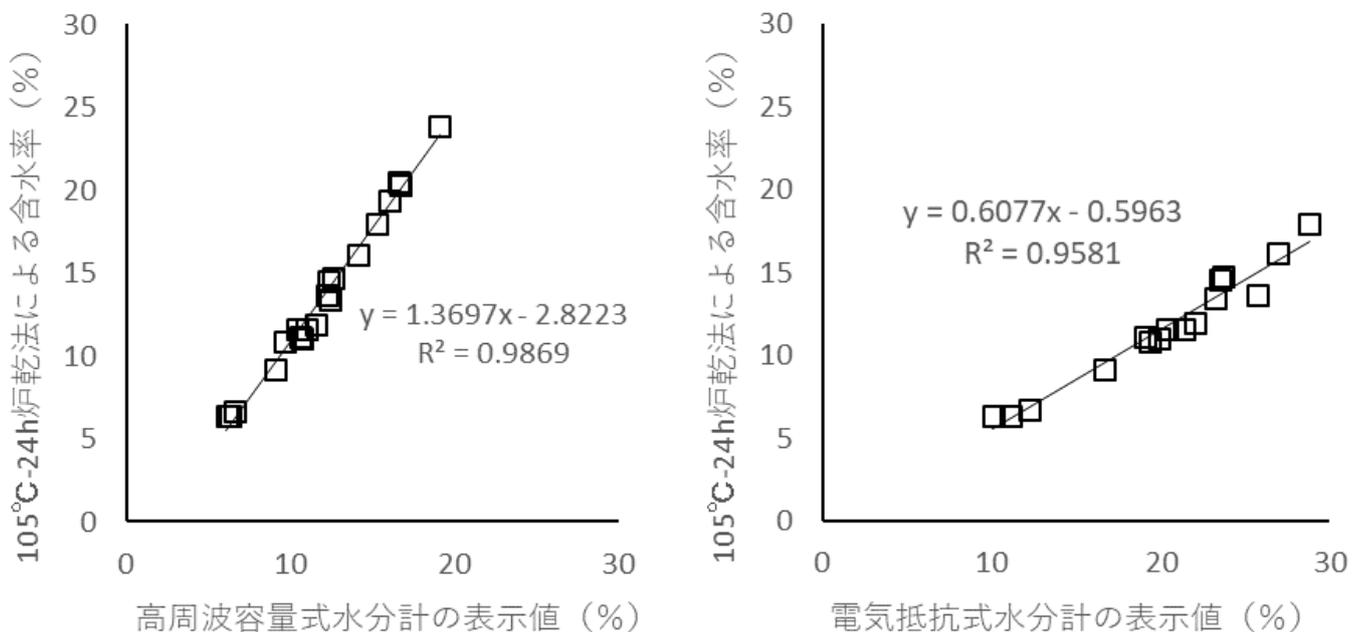


図1 各水分計の表示値による換算式

注 供試系統：田村在来 (黒種)、各グラフの左軸はエゴマを 105°C-24 時間乾燥させて算出した含水率

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和元~3年度
- (2) 研究課題名 菜食健美ふくしま! 地域特産物活用事業

5 主な参考文献・資料 なし